

第5回会合宿題事項への対応

宿題事項	対応・回答
<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日整連より「特定DTC照会アプリに、必ずしも車検証の記載事項とは一致しないECUに記録されたVINを表示することは混乱を招く」との指摘があった。他方で、当該表示は誤入力への気づきの観点から有益との意見もある。 ● これらを踏まえ、日整連で「表示すべきでない」と考える場合、会員の意向など実態を把握頂き、OBD検査準備会合でご報告を頂きたい。【事務局】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定DTC照会アプリにECUに記録されたVINを表示することは差し支えない ● ただし、検査実施者の混乱を招かないように、行政において以下の対応をお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ VINと車台番号の関係性及び当該表示はOBD検査／確認には使用されない旨周知すること ・ 第4回OBD検査準備会合の資料8(検査場における抜き取り検査の実施について)にある「読み取ったECUに記録されたVINと車検証情報が異なる場合の抜き取り検査」の合理性を説明すること <p style="text-align: right;">【日整連】</p> <p>※本内容について、5月23日付で国土交通省及び自動車技術総合機構より日整連へ事務連絡を发出(「参考資料4車両ECUから読み出される車台番号等の情報の取り扱いについて(周知依頼)」参照)</p>
<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スキャンツールのバージョン情報は、具体的にどのような場面・タイミングで必要とされるのか教えて欲しい。 ● 各ツールメーカーがそれぞれの確認方法を各社HPに掲示するよりも、特定DTC照会アプリの機能として、バージョン名とファームウェア名が表示される方が合理的ではないか。【自機工】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車整備工場等がスキャンツールのバージョン情報を必要とするのは、以下の場合である。 <ol style="list-style-type: none"> ① 指定工場が運輸支局に対して、初めて検査用スキャンツールを届出する場合(バージョンの記入欄がある) ② 日々のOBD検査で、使用する検査用スキャンツールが、認定を受けたバージョンであることを確認する場合 ● 特定DTC照会アプリの機能として、バージョン名及びファームウェア名を表示するように改修済(令和6年3月)【事務局、機工協】
<p>3</p> <p>特定DTC照会アプリのスマートフォン対応について、Androidへの対応は進めていると理解しているが、iOSへの対応はしないのか。【自工会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定DTC照会アプリのスマートフォン対応は、複数のOSを同時開発した場合、それぞれ時間を要するため、①Android、②iOS(iphone・ipad)の順に開発を進めることとしている。(「資料9 今後の進め方・中長期的課題について」参照)
<p>4</p> <p>特定DTC照会アプリと検査用スキャンツールのiOS対応に並行してiPad OSの対応も検討していただきたい。【日整連】</p>	<p style="text-align: right;">【事務局】</p>